

しあわせ長寿プランについて ～終活における支援のあり方の検討について～

1 主旨

少子高齢化の進展や核家族化等に伴い、高齢者の単身世帯は年々増加傾向にある。また、近所づきあいの希薄化などの不安からも、終活への関心が高まっている。

そのような中、葬儀や納骨、各種届出など終活サービスを行う民間事業者が増えているが、一方これらのサービスは、法令やルールもなく、全国的に消費者トラブルが発生している状況にある。

北九州市において、誰もが不安を感じることなく終活の取組みを行うことができ、安心して暮らせるよう、終活における現状や課題、市民が望む支援内容等を把握するとともに、これからの終活支援のあり方について検討を行うもの。

2 内容

(1) 調査の実施

① アンケート調査

終活に関する課題やニーズ等を把握

(ア) 市政モニターによる調査（令和6年6月17～28日）

市政モニター約100人

(イ) 各団体等を通じての調査（令和6年5～7月）

民生委員や弁護士等約900人

② 民間の終活支援事業者等へのヒアリング調査（令和6年7月）

葬儀社、不動産事業者等10社程度

(2) 検討会の開催

① 検討会メンバー

高齢者の権利擁護関係に詳しい有識者（大学教員等）、弁護士、司法書士、居宅介護支援事業者、北九州市社会福祉協議会、消費生活センター、葬儀社、終活支援事業者等

② スケジュール

7月～9月に全3回で開催予定。

	主な検討内容
第1回	【現状の取組及び現時点での課題の共有等】 ・終活支援の現状と課題 ・他都市の終活支援の事例紹介 等
第2回	【調査結果をふまえて】 ・調査結果にもとづく今後の方向性(課題解決に向けた方策等) ・望まれる終活支援の内容 等
第3回	【まとめ】 ・終活支援に携わる関係者によるネットワークの形成 ・高齢者が安心して相談できるしくみの構築 等